フロンティア旭（旧会派）の政務活動費の不正請求・受給事件について不正事件当時に会派代表であった森市長の意見表明を議会として催促する請願書

討論要旨　山下幹雄議員

本 12 月定例会の初日である 11 月 30 日に、市長より発言の申し出があり、その中でこの案件について説明をいただき、責任を感じているということで市民におわびしたいという内容であったと記憶している。

陳述の中で、請願者も、この部分については一定の評価をされていた。しかしながら、この数分間の中に発言された話に、どうしても心に触れるものが感じられなかったということも表現されておられた。市民の疑念、市民の皆さんに分かりやすくその心中を届けることも大切だと思う。政治の中には、昔から言われているが「信なくば立たず」、政治を進めていくには経済も、そして市民の生活も大切ですが、その前に、それを執り行う者がその民の信用をなくして政治が進むわけがないということであるが、請願者のその陳述内容を一言一言お聞きしながら、大変重い問題であって、真摯に向き合う姿勢で、市長には市長が会派の代表であったという部分がこの表題にはあるが、今現在、この時点で８万3,000市民のトップリーダーとして市民のために働いていただいている市長としての意見、表明がこの中にはなかったんではないだろうかというお考えもいただいている。そして、私はそれに賛同している。

大変厳しい環境で、市長の心中を察すれば、なかなか言えないことだとは思う。しかし、ここは割り切って、市長としてこの案件についてしっかりとした表明、方向を示していただくことが、市民からの信頼をいただいて次の政治を進めていくために大変大切な事だと私も感じた。